

視聴覚教育

NO. 464

発行日

R3. 3. 1

編集・発行

岡崎市 A V L

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？ シーケンス

連続しているもの、順序づける、などの意味。ITの分野では、並んだ順番にデータや手順を取り扱う処理方式のことを意味する場合が多い。例えば、機械に行わせる動作を先に決めて、一つずつ順番に処理を進行させていくシーケンス制御は、よく用いられる。

この一年の歩み「明日を照らすICT」

学習情報指導員 太田 尚志

朝、通勤のために自宅から出ると、濃い霧に包まれている日があった。車内に乗り込んでエンジンスタート。ヘッドライトを点灯してから、慎重に車体を公道へと滑らせた。思えば、今年度の四月、五里霧中の学校生活は、ライトを探すところからスタートしたような感覚だ。

コロナ禍に際し、ICTへの注目が俄然高まった。世間ではZoomを筆頭にWeb会議システムが一世を風靡し、企業ではオンラインによる会議や研修、大学では授業が行われた。我々教員も、Teamsを利用して主任会や研修を行った。当初は開催者からの一方通行で、発表者は一つの会議室に集まった。しかし、現在では双方向通信による研修や複数の発表者が分散したままの会議が行われている。こうした取組は子供へも還元される。様々な事情で学校へ来られないことがある子供とオンラインで繋がり、朝の会や授業を行う試みが始まった。休業に備え、学級丸ごとオンライン授業に挑戦した学校もある。今年度得たWeb会議に関する知見は、コロナ禍収束後も新しい授業形態に生きてくる。

夏休みを越えると、Myタブレットの運用が段階的に始まった。社会科や総合的な学習の時間における調べ学習は、日常的に行えるようになった。理科では、写真に撮った植物をマークアップ機能でなぞることで、葉脈や茎の毛など、より一層細かいところまで、子供の気付きを高めることができるようになった。音楽科では、演奏・録音のアプリを活用した作曲の授業が行われるようになった。楽器の演奏が苦手な子供も、作曲に集中することができる。そして、多くのノートが「スクールタクト」にとって代わりつつある。もはやプリントを糊で貼る必要はない。評価をするのに、わざわざノートを集める必要もない。我々も子供もタップ一つで授業をさかのぼることができる。一人一台のタブレット端末を活用した授業を見て、ある保護者はこう言った。「ついにこんな時代が来たんですね。」

霧の朝のドライブを恐る恐る続けていると、ヘッドライトを点けた別の車とすれ違った。街中に近づくごとに、車のライトが増え、道がはつきりとする。ある人はスマートフォンランプ、ある人はハイビームを利用して、道を照らす。様々な人の様々な光の使い方が、街の道を浮かび上がらせた。ICTもそんな光の一つである。

Ⅱ視聴覚教育あれこれⅡ ●自作視聴覚教材が完成

「おかざき映像教材研究会」制作の教材が完成しました。今年度は、Myタブレットで活用できる作品として、マルチメディア作品四つを制作しました。今までに制作されたビデオ作品を基に、作品をリメイクしています。いずれの教材も授業での使いやすさを考えて作られていますので、提供された折には積極的に御活用ください。

作品・班員の紹介

A班『岡崎の伝統』 ～守り受け継ぐ人々の思い～

（対象） 小学校三・四年 社会

鈴木一史（竜海中） 鈴木奈穂子（新香山中） 赤堀大知（竜海中）
鈴木俊宏（北野小） 浅井悠輔（恵田小） 鈴木優太（矢北中）
藤瀬俊旭（新香山中） 太田尚志（竜谷小）

B班『北山湿地』

（対象） 小学校六年 理科

服部将也（梅園小） 杉山康子（六北小） 渡邊智文（大樹寺小）
山口秀樹（竜美丘小） 酒井雄一（六北中） 神野裕美（美合小）
太田尚志（竜谷小）

C班『岡崎の産業』

（対象） 小学校三～五年 社会

水野利明（矢作中） 高瀬玲子（男川小） 岩川皓司（六北小）
加藤周司（矢束小） 田中章太郎（大門小） 長谷川誉幸（矢作中）
廣藤静香（大門小） 中山美奈子（竜南中）

D班『こみのゆくえ』

（対象） 小学校四年 社会

石谷遼一（生平小） 鈴木広樹（額田中）
手嶋夕菜（羽根小） 加藤 明（広幡小）
吉見 明（美川中） 河合泰宏（羽根小）
中山美奈子（竜南中）

～作品の紹介～



C班「岡崎の産業」



A班「岡崎の伝統」

実践報告Ⅱ

アプリ「アイビスペイント」を活用した実践

岩津中学校 谷口 定夫

本校の美術科の実践を紹介する。

二学期に自画像を制作した。事前アンケートでは、美術の授業や絵を描くことが好きでも、自画像を描くことが好きだ、と答える生徒はほとんどいなかった。中学生にとって抵抗が大きい内容だが、Myタブレットの画像編集アプリを活用することで、今までよりも表現豊かな自画像を描く生徒が増えた。

まず、鑑賞を通じて自画像について学び、一度鉛筆で自画像を描いた。次に、Myタブレットのカメラ機能を使って、構図を考えてから自身の顔を撮影した。そしてアプリ「アイビスペイント」を利用し、写真を基にトレースを行い、自画像を描いた。その際ズームや回転、やり直しなど、アプリの機能を活用することで、顔の輪郭や目鼻の形を正確に描くことができた。また写真の表示と非表示を切り替えられるので、全体像を見ながら、描く線を慎重に吟味して何度も書き直すことができる。すると、細かな部分をより正確に表現しようとする生徒が増えた。

生徒からは「写真をなぞったり大きくしたりしたので、前に描いた自画像より上手にできた」や「顔の一つ一つの特徴を感じてみると、なぞらない方が自分らしさが出た」などの発言があった。生徒は、今までよりも上手く描けたという達成感を味わうとともに、細部まで観察して自分らしく表現する力を高めることができた。



Ⅱレッツ・トライ！ICTⅡ

今回紹介するアプリ

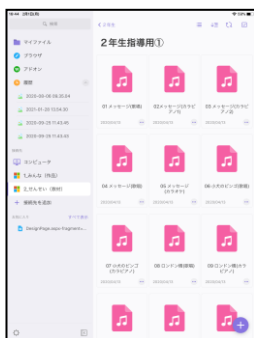
「音声編集アプリ」

学校に一人一台のiPadが貸与され、これを利用して音楽を流したい、という需要が高まっている。実際に、運動会や学習発表会の練習において、ブルートゥース接続のできるスピーカーやレシーバーと組み合わせ、音楽を流す機会が増えた。利点は、頭出しがすぐにできることやテンポを落として再生できることだ。音楽に合わせた体の動きを部分的に、そして、ゆっくり練習することができ、丁寧で効率のよい指導につながった。

しかし、iPadで音楽を再生するには注意しなければならないことがある。パソコンで再生できた音楽が、拡張子が合わずに再生できないことがある点だ。これを改善するために、「音声編集アプリ」を利用するとよい。アプリを使って音楽ファイルの拡張子をA I F形式へ変換することで、iPadでの再生がストレスなく行える。校務P Cには「Audacity」というアプリが入っている。有料ではあるが「サウンドフォージ」というアプリも使いやすくてお勧めだ。

i P a dと音声編集アプリを組み合わせることで、効率よく音楽を再生できるようになった。今後も指導の効率化を進めていきたい。

(六ツ美西部小学校 学習情報主任 西片茂雄)



ライブラリーだよ

●本年度購入の新規貸出DVD教材の紹介

◇情報モラル教育関係

「みんなの情報モラル」

アプリと上手につきあうために」(20分)

「コントで学ぶ メディアと社会とわたし」

全4巻(各巻約30分)

◇道徳関連

「はじめて学ぶLGBTs」

全2巻(各巻約15分)

「LGBTsの子どもの命を守る」

学校の取組 全2巻(各巻約20～30分)

◇防災教育関連

「どこにひなんすればよいの？」

南海トラフ地しん 大津波がくる」(約19分)

「どう向きあえばよいの？」

南海トラフ巨大大津波

大津波の経験を伝えたい」(約21分)

「南海トラフ巨大大津波 どう備えるべき？」

避難が命を守る鍵となる」(約22分)

ここで紹介した以外の作品も含め、令和三年四月から貸出できるように準備を進めています。積極的な御利用をお願いします。

★編集後記★

新型コロナウイルス対策に伴うGIGAスクール構想の前倒し稼働など、視聴覚・情報教育にとって大きな変化の波が来た一年でした。来年度も皆様のご協力を賜りつつ、社会の変化に対応しながら、社会教育、学校教育へ有益な情報を発信する月報作りを続けていきます。